



全員で作る小笠原小学校

楽しかったゴールデンウィークも明け、学校生活も落ち着いた中でスタートしました。この長い休み中は多くのことを経験したり、ゆっくり休んだりそれぞれのスタイルでの連休だったのではないでしょうか？今月末には運動会も控えています。気持ちも新たに多くのことに挑戦し、力を蓄えてほしいと思います。

さて、学校生活においては多くの友達や先生方と関わります。その出会いや関わりは奇跡的な事であり大事にしたいと考えています。始業式の時に子供たちには「お互いの違いを認め、大事にしていこう」「友達を攻撃しない」と言う話をしました。今、世界中のいたるところで争いが起こっています。宗教観の問題であったり領土の問題であったりその内容は多岐にわたっています。私はそんな大きな問題に対して色々いう事ができる立場ではありませんが、「なんでお互いに攻撃し合うのかなあ・・・」といつも思っています。しかし、子供たちに話をしたとおり、学校内においては攻撃し合う必要もないし、誰も悲しい思いをする必要もありません。小笠原小学校の全員が毎日を笑顔で過ごしてほしいと願っています。そのために子供たちも含め小笠原小学校に通っている全ての人が、お互いの立場を尊重し認め合える関係が大切です。

よく大人は「器が大きい」とか「器じゃあない」とかちょっと否定的な感じで使うことがありますが、器って大小とかではなく全ての器に意味があるのです。例えば食卓を想像してください。そこには白米は茶碗に、味噌汁はお椀に盛り付けられています。また、平たい皿にはおかずが乗っているのではないのでしょうか。それぞれの器は大きさや深さ、形によって用途が違います。用途に合わせた使い方をすることによって、食卓が賑やかになります。全ての器が正しい使い方することによって、おいしい食事がいただけます。私たち人間も全く同じです。人は全て違います。小笠原小学校では422個の器があり、それぞれが大切な役割を果たしています。器の大小とか深い浅いとか、丸い四角いとかという区別なく全てに意味があります。上級生が先頭に立って活躍する取組とか、時と場合によっては使い分けることもあります。しかし、小笠原小学校の422人の個性は全てが尊重され、大事にされなければなりません。全校の一人一人がお互いを認め、違いを理解しながら今年1年を生活してほしいと願っています。「仲間がいれば、可能性は無量大」に広がります。日本一の学校を目指して！もちろん保護者の皆様、地域の方々にも最大限の御支援、御理解をよろしくお願いします。

全校の子供たち、保護者の皆様、地域の方々、そして全職員がお互いを尊重し認め合い、切磋琢磨することで生活は豊かになり、よりよい小笠原小学校になります。住みよい安心・安全な学校は全員の手で作り上げるしか方法はありません。小笠原小学校に関わる全ての人がしっかりと意識をして、今年度を過ごしてほしいと願っています。